

【1月26日（火）に東海大学・愛知県立大学との合同成果発表会をオンラインで実施】

2020年秋から東海大学日本語言文化學系有志学生（学部生8名、院生1名。工藤節子先生、佐藤良子（内田良子）先生）と愛知県立大学外国語学部国際関係学科プロジェクト演習（学部生10名、東弘子先生）とが連携し協働学習に取り組んできました。今回のテーマは台湾でも日本でも社会課題として注目されている「日本／台湾の外国人労働者（介護・福祉分野）」です。

本プロジェクトでは両校の学生が混合のチームを作り SNS を利用しながらオンラインで協働作業を行い、調査、議論を重ね、課題をまとめてきました。学習成果の発表の場では動画による報告発表、オンラインでの質疑応答を日本語で行いました。

各グループからは日本や台湾での外国人労働者の不法労働やセクシャルハラスメント、偏見・差別、支援するボランティアグループ/NPO の活動など様々な内容が報告されました。当日は、両校の関係者だけでなく、愛知県立大学の中国学科の教員、留学生支援センターの職員、学部1年生も参加し質問やコメントが活発に出され盛況な発表会となりました。

コロナ禍の中でもオンラインなら世界中の大学と国際協働学習（COIL）が可能な時代になりました。今だからこそできる国際交流を模索し挑戦していきたいと思います。



写真① 外国人労働者について調査結果を日本語で発表！写真② オンライン発表会の様子